

IOI (IOIB)

EUで森林破壊と森林劣化に係る「欧州森林破壊防止規則(EUDR)」発効。パーム油備蓄の輸入需要増加へ

マレーシア | 農産物 | 業績フォロー

BLOOMBERG IOI:MK | REUTERS IOIB.KL

- 2024/6期4Q(4-6月)は、粗パーム油価格上昇と販売量増加を受けて売上高が前年同期比30.2%増、税引き前基礎的純利益が同28.2%増。
- 4Qの部門別の基礎的営業利益は、プランテーション部門が同17%増、資源ベース製造部門が同2.3倍と、川上・川下ともに堅調。
- EU(欧州連合)で森林破壊と森林劣化に係る「欧州森林破壊防止規則(EUDR)」が発効。欧州によるCPO備蓄の輸入需要が見込まれる。

What is the news?

8/26発表の2024/6期4Q(4-6月)は、売上高が前年同期比30.2%増の25.39億MYR、営業利益が同78.7%増の3.41億MYR、為替換算差損益やデリバティブ契約に係る公正価値の変動、および関係会社の持分一部売却などの一時的要因を除く税引き前基礎的純利益が同28.2%増の3.23億MYRだった。粗パーム油(CPO)価格の国際相場が前年同期比で堅調だったことに加え、プランテーション部門の生産量増加および資源ベース製造部門の販売量も増加と、全体がバランス好く改善した。4Qの前四半期比は、売上高が3.1%増、会計上の税引き前利益(PBT)が43.6%増だった。

4Qの部門別の基礎的営業利益は以下の通り。①プランテーション部門が、前年同期比17%増の2.95億MYR。生産量は、FFB(果実の束)が同4%増、CPOが同4%増だったことに加え、平均実現価格ではCPO(粗パーム油)が同5%上昇、PK(パーム核)価格が同19%上昇したことが貢献した。②資源ベース製造部門が、同2.3倍の80.3百万MYR。オレオケミカルと精製の合計販売量が同4.9%増加した。

How do we view this?

昨年6月29日、EU(欧州連合)にて森林破壊と森林劣化に関する「欧州森林破壊防止規則(EUDR)」が発効。規則はEU市場で販売、もしくはEU市場から輸出される対象品が「森林破壊に関わっていない」と証明することを義務付けるものであり、大企業に対して今年12月30日から、中小企業に対しては来年6月30日から適用が開始される。2025/6期プランテーション部門は、EUDR施行前に欧州が備蓄を進めることでパーム油のCPO価格が下支えされることの恩恵を受けると見込まれる。また、若木からのFFB生産量増加に伴う生産コスト低下も業績に寄与すると見込まれる。

他方、資源ベース製造部門は、隣国インドネシアの製油所の過剰生産能力とCPO輸出関税政策による原材料価格高止まりが精製マージンの低下につながることから不利に働くほか、欧州市場で関連会社のブンゲ・ローダース・クロクラン(BLC)が営む特殊油脂事業において特殊油脂工場向けの原料油を生産するロッテルダム製油所のリース契約が今年末で満了することからコスト増に繋がる懸念も残る。

マレーシア経済の好調を受けてマレーシア・リンギットが対米ドルで堅調に推移しているのは為替換算利益を通じて業績へ追い風だろう。

業績推移

※参考レート 1MYR=32.59円

事業年度	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6F	2026/6F
売上高(百万MYR)	15,578	11,583	9,603	10,976	11,264
当期利益(百万MYR)	1,725	1,114	1,109	1,286	1,317
EPS(MYR)	0.28	0.18	0.18	0.20	0.20
PER(倍)	13.61	21.17	21.17	19.05	19.05
BPS(MYR)	1.74	1.80	1.88	1.94	2.04
PBR(倍)	2.19	2.12	2.03	1.96	1.87
配当(MYR)	0.14	0.11	0.10	0.11	0.11
配当利回り(%)	3.67	2.89	2.62	2.89	2.89

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR)	0.11	(予想はBloomberg)
終値(MYR)	3.81	2024/9/13

会社概要

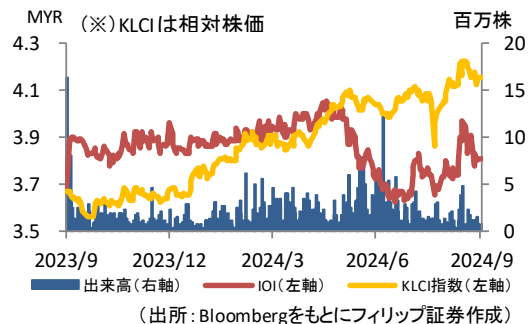
1969年にインダストリアル・オキシジェン・インコーポレーテッドとして設立。世界有数の総合パーム油企業で、上流分野のプランテーションから下流分野までパーム油に係るバリューチェーン全体をカバーしており、プランテーション部門および資源ベース製造部門を営む。

①プランテーション部門は、マレーシアやインドネシアに業界最大級である23万ヘクタール超の農場を有している。実践的な管理手法などから、業界最大のパーム油を算出し、最も効率的な大規模プランテーションを運営している。

②資源ベース製造部門は、精製事業、油脂化学製造(オレオケミカル)事業、特殊脂肪製品事業といった下流分野を担う。世界の顧客のニーズ対応のため、マレーシア、オランダ、アメリカ、カナダに製造施設を有している。加工製品は、世界60か国以上に輸出されている。

企業データ(2024/9/17)

ベータ値	0.91
時価総額(百万MYR)	24,008
企業価値=EV(百万MYR)	25,840
3ヵ月平均売買代金(百万MYR)	8.2



主要株主(2024/9)

1.PROGRESSIVE HLDS SDN BHD	50.45
2.EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	13.07
3.AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	6.99

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。